

空き店舗を活用して交流施設を整備、バス待合所やミニギャラリーとして活用

## 小田まちづくり株式会社

機関名	小田まちづくり株式会社		
所在地	愛媛県喜多郡内子町寺村		
電話番号	0892-52-2144		
地域概要	(1)管内人口 37千人	(2)管内商店街数 2商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 36商店	
	(3)空き店舗率 0.8%	(4)大型店空き店舗数 0	
	小田中央商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 空き店舗対策事業 ・コミュニティ施設設置  
バス待合所やミニギャラリーとして活用  
総事業費 3,300千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

平成17年1月1日に、愛媛県の中央部に位置する旧内子町、旧五十崎、旧小田町の3町が合併し、面積299.5km<sup>2</sup>、東西30km、南北27kmの新たな内子町が誕生した。

旧小田町では、人口減少や買い物客の町外流出による販売不振、後継者難等による商業の沈滞が続き深刻な問題であった。平成14年に第三セクター“小田まちづくり株式会社”（事務局は小田町商工会が兼務）を中心として作成した小田町TMO構想が認定を受け、中心市街地の活性化の取り組みを始めた。その一環として平成16年度に空き店舗対策事業を実施した。



内子町の位置（内子町HPより）

#### 2. 事業内容

事業内容としては、小田町の小田中央商店街内の空き店舗を改装して、来街者との交流拠点「陽温庭（ひぬるわ）」を設置し、バス待合所、ミニギャラリー、商店街の抽選会場等として活用するものである。

(1)交流拠点「陽温庭(ひぬるわ)」

空き店舗改修工事 平成16年12月8日～26日

事業期間 平成17年1月13日(オープン)～平成17年3月31日

①バス待合所として活用

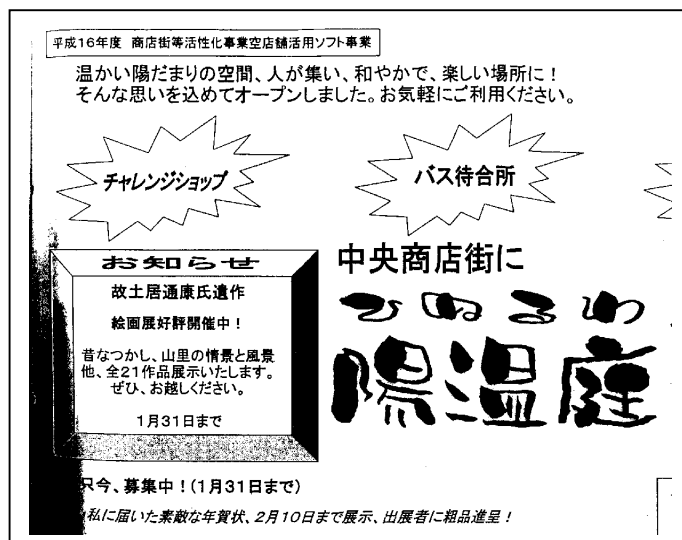
②ギャラリーとして活用

- ・まんが本ギャラリー(町内より寄贈のあった150冊を常時設置)
- ・絵画展
- ・写真展
- ・お雛様と絵手紙展

③その他の活用

中央商店街20店舗が参加し5日間実施する、買い物スタンプラリー「おだ市」の抽選会場として活用した。また、期間中の3日間は杉の子作業所(知的障がい者の作業所)出店販売を、そして2日間は大判焼き実演販売を行った。

「交流施設 陽温庭のチラシ」



**【 効 果 】**

**1. 来街者の行動**

空き店舗を活用して交流施設を設けたことで、来街者が気軽に立ち寄れる場所ができ、滞留時間が長くなった。

**2. 商店街の組織**

事業実施に際し、商店主自らが様々なアイデアを出し合い、話し合う体制ができたことから、今後の運営展開も商店街に任せることが可能となった。

**【 課 題 ・ 反 省 点 】**

**1. 実施期間・実施時期**

事業実施の決定、連絡があった時期が非常に遅く、事業実施の期間が予定よりもだいぶ短くなってしまった。

**2. 人的体制**

商店街の各商店の活性化事業への積極性が乏しい。先頭に立ってまとめていくリーダー不在の状態であり、商店街に完全に任せることが難しい。

**【 関 連 U R L 】**

内子町商工会 <http://www.town.uchiko.ehime.jp/index.php>